

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ASKAclub本町		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年 12月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動遊びや療育を取り入れ、一日の活動量を確保し、お子様の「できた!」を増やしていく	ワンフロアの空間ですが、お子様のその日の状況に応じて柔軟に対応し、一人ひとりの個性や特性に合わせたプログラムを考えています。	室内だけでは難しい体の動きを促すため、公園遊びや散歩などの「外活動」を積極的に取り入れ、様々な経験ができる機会を増やしています。
2	ご家族との対話や相談を日常的に行い、密なコミュニケーションを大切にしている	送迎の際など、ご自宅での様子を伺ったり、施設でのお子様の様子をお伝えしたりする時間を大切にしています。	保護者の皆様からのご意見やニーズにも耳を傾け、運動機能が向上するよう、日々の基礎運動に反映させて繰り返しています。
3	お子様の施設や家庭での様子、保護者様からの情報を職員全員で共有し、共通理解を持って支援している	毎日ミーティングを行い、連絡帳での報告も徹底することで、スタッフ間でスムーズに情報交換ができる体制を整えています。	日常的に職員同士が声を掛け合い、コミュニケーションを取りながら、チームワーク良くお子様をサポートできる信頼関係を築いています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
	地域の方々に、当施設（児童発達支援・放課後等デイサービス）への理解をもっと深めていただく必要がある	日中は室内で過ごす時間が多いため、地域の方と直接触れ合ったり接したりする機会がまだ少ない状況です。	地域の行事に積極的に参加します。また、挨拶や交通ルールの実践も活動の一環として取り入れ、地域に愛される施設を目指します。
2	災害時の安全対策について、保護者の皆様への周知・共有が十分に行き届いていない	マニュアルや掲示物が一部の場所に限定されており、保護者の方の目に触れにくい状況になっています。	災害時対応マニュアルを図やイラストを用いて分かりやすく作り直します。また、定期的に短時間の確認タイムを設けるなど、周知と再確認を徹底します。
3			